

平成28年度決算に係る

定期監査調書

平成29年7月

公文書館

## 目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況	1頁
3	組織及び業務調べ	1頁
4	職員の定員、現員調べ	2頁
5	役付職員の調べ	2頁
6	主な事業に関する調べ	3頁
7	収入証紙取扱額調べ	9頁
8	収入事務処理状況調べ	9頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	10頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	10頁
11	不納欠損額調べ	10頁
12	負担金、交付金及び委託料支出状況調べ	10頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	12頁
14	財産に関する調べ	12頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	14頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	14頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	14頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車(二輪を除く)の管理状況調べ	14頁
19	寄附物件の受納状況調べ	14頁
20	備品の処分状況調べ	14頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	14頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
22	職員旅費の執行状況調べ	15頁
	(1) 旅行伺の事前承認	
	(2) 旅費概算払の精算等	
	(3) 旅費の計算	
	(4) 旅費の適正執行の取組状況等	
○	意見・要望等	16頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

監 査 意 見	処 理 状 況 等
<p>公文書館・図書館両館の今後の運営に当たり、それぞれの所蔵資料の情報共有化に向けた横断的な検索システムの構築など機能面での一層の連携強化策について検討されたい。</p>	<p>公文書館と図書館において連絡会議をこれまで6回開催（12/8(木)、1/27(金)、2/23(木)、3/22(木)、4/20(木)、5/25(木)）し、「県立公文書館在り方検討会議」報告書に基づく具体的な連携についての協議を進めているところである。</p> <p>＜これまでの検討内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在は、重複する資料が多いと思われる行政資料・統計資料について、各館の保有状況を調査したところであり、今後、利用者の利便性や保存スペースを考慮した方向性を今年度の7～8月を目途に導き出す予定である。</li> <li>・それぞれの収蔵資料の横断的な検索システムについては、今後のデジタルアーカイブシステム（電子資料保存システム）の構築に向けた課題として、共同で検討を進めていくこととした。</li> </ul> <p>今後も定期的に連絡会議を行い、それぞれの館の持つ役割、利用者の利便性等を考えながら連携した取組を進めていく。</p>

(3) 決算審査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
公文書館	公文書担当	<p>○公文書等の収集、整理及び保存に関すること。</p> <p>○公文書等の閲覧、展示その他の利用に関すること。</p> <p>○公文書等に関する調査研究に関すること。</p> <p>○県の施策その他の県政に関する情報の提供に関すること。</p>
	県史編さん室	○県史編さんに関すること。

4 職員の定員、現員調べ

(平成29年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	29.4.1 現 在	28.4.1 現 在	29.4.1 現 在	28.4.1 現 在	29.4.1 現 在	28.4.1 現 在	29.4.1 現 在	28.4.1 現 在	
定 員	11	11					11	11	
現 員	(0) 11	(0) 11					(0) 11	(0) 11	
過不足(△)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨 時 職 員							0	0	
非常勤職員	11	10					11	10	特別職5、一般職6

5 役付職員の調べ

(平成29年4月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
		年	月	
公文書館長	田中 健一	1	0	
課長補佐	津村 真二		8	出納員
県史編さん室長	岡村 吉彦	5	0	通算9年
総括専門員	伊藤 康	10	0	通算22年
課長補佐	西村 芳将	2	3	

6 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
公文書館普及事業	890			890
将来ビジョン				
政策項目				
<p>(概要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県政に関する公文書等の情報に触れる機会を県民に提供することにより、公文書館や歴史公文書等の保存・活用に対する県民の理解を深める。</li> </ul> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 常設展 鳥取県の誕生から明治期にかけての資料、昭和20年代後半のカラー写真、鳥取市街を撮影した航空写真等を展示した。</li> <li>・ 企画展：「鳥取大火の初公開写真」 内容：公文書館が所蔵する鳥取大火に関する初公開写真をもとに災害と復興の様子を紹介した。 会期：平成28年4月21日（木）～6月5日（日） 入館者：1328人</li> <li>・ 企画展：「鳥取県ができるまで」 内容：明治4年の鳥取県の誕生から鳥根県への併合、再置、再置後の県政のあゆみ、その後の地域再編の動きについて紹介し、県民の日の趣旨である「県民がふるさとについての理解と関心を深める」ことへの一助とした。 会期：平成28年9月1日（木）～10月2日（日） 入館者：702人</li> <li>・ 企画展：「公文書館の仕事」 内容：「鳥取県における歴史資料として重要な公文書等の保存等に関する条例」の施行に合わせて、公文書館の概要や施設の紹介、公文書の収集・整理・保存、公文書の修復、公文書館の普及活動、新しい条例の概要、市町村との連携と協力、災害時の対応について紹介した。 会期：平成29年3月14日（火）～5月21日（日） 入館者：198人（3月31日まで）</li> </ul> <p>イ 平成28年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初公開資料の展示など、時宜をとらえた、話題性の高い展示を実施するよう心がけた。</li> </ul> <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鳥取大火の初公開写真や鳥取県再置後の地域再編の動きの資料は、多くのテレビ、新聞で取り上げられた。</li> <li>・ 新条例施行に合わせて開催した企画展では、展示物を利用したパンフレット『公文書館の仕事』を作成することにより、その後の館イベントや来館者への公文書館や新条例の概要を説明する資料として利用できるようにした。</li> </ul> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き、県民の注目を引くような話題作りや効果的な広報に工夫が必要。</li> </ul>				

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
歴史資料保存事業	4,403		9	4,394
将来ビジョン				
政策項目				
<p>(概要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>貴重資料の修復及び電子化・複製化を行い、長期保存を図ると共に県民への提供を行う。</li> </ul> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>写真アルバム『鳥取大火災復興記念写真帖』『15号台風災害現場写真』を修復した。</li> <li>白黒ネガフィルム(5512コマ)を電子化すると共に紙焼き等を行った。</li> <li>鳥根県庁等から複製収集した鳥取県関係(鳥根県併合時代)資料等を複製本(50冊)にした。</li> <li>公文書綴り『兵事動員二関スル日誌』『終戦後における県政重要問題調査資料』『仏堂寺院所属認可関係』を修復した。</li> <li>地下書庫の温湿度管理、害虫の侵入を防ぐための処置を行った。</li> </ul> <p>イ 平成28年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>修復の専門家を招いての職員対象ワークショップを開催し、軽易な破損のある資料を職員で修復するための一助とした。</li> </ul> <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特に申請の多い写真類を整理・電子化することで、未公開だったものが円滑に提供できる体制が整ってきた。</li> </ul> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電子化の終了した写真類の整理・目録化の進捗が遅れ気味である。</li> </ul>				

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
公文書収集利用促進費	6,574		17	6,557
将来ビジョン				
政策項目				
<p>(概要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>鳥取県における歴史資料として重要な公文書等の保存等に関する条例及び鳥取県公文書等の管理に関する条例に定める手続に則り、知事部局をはじめとした実施機関の歴史的公文書等を引き継ぎ、保存し、利用請求に応じる。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>① 簿冊(公文書綴)の引継ぎ状況</p> <p>鳥取県立公文書館歴史公文書等選別方針に照らして評価選別及び引継ぎを行い、排架した。</p>				

(公文書収集利用促進費 の続き)

実施機関	対象※1	実績※2	実施機関	対象※1	実績※2
本庁	7,953件	378件	選挙管理委員会	71件	0件
地方機関	12,329件	21件	人事委員会	22件	0件
知事部局計	20,282件	399件	監査委員	169件	41件
教育委員会	6,811件	81件	海区漁業調整委員会	8件	0件
企業局	8件	0件	病院事業管理者計	465件	14件
警察本部	3,479件	0件	合計	31,315件	535件

※1 平成27年度末までに保存期間が満了した簿冊の件数

※2 平成28年度末までに引き継いだ簿冊の件数

② 行政資料の収集・管理

実施機関等が発行又は取得した行政資料を収集し、行政資料検索システムに登録・管理の上、利用に供した。統計資料も含めた平成28年度の収集件数は977件、平成28年度末累計所蔵冊数は58,769冊。

③ 利用提供（レファレンス）

◎県民等の利用請求に応じ、特定歴史公文書等について利用提供を行った。

区 分	請求者数	請求件数	利用決定区分件数			不服申立 件 数
			全部利用	部分利用	利用制限	
引継公文書	56人	264件	262件	2件	0件	0件
寄贈寄託資料	66人	463件	456件	7件	0件	0件
計	122人	727件	718件	9件	0件	0件

このほか県職員の請求者数360人、請求件数746件あり。

◎県民等の利用請求に応じ、行政資料等について閲覧等のサービスを行った。

請求者数73人、請求件数152件。このほか県職員の請求者数30人、請求件数51件あり。

④ 県市町村公文書等管理連絡協議会の開催

公文書等の管理に関する法律第34条の趣旨に基づき、県や市町村が保存する公文書等の望ましい公文書等の管理と保存方法について情報交換するとともに、担当者間の連携を図った。

期 日 平成28年7月21日

会 場 中部総合事務所

参加者 25人、当館職員

内 容 文書管理について／県立公文書館在り方検討会議について／意見交換

⑤ 文書管理主任研修会（政策法務課主催の研修会に講師として派遣）

期 日 平成29年2月6日、7日、8日

会 場 鳥取県庁（6日）、西部総合事務所（7日）、中部総合事務所（8日）

参加者 170名（実施機関の文書管理主任等）

内 容 公文書館の業務／評価選別の実務／不適切な事例／簿冊名の公表・検索のお知らせ／行政刊行物送付のお願い

イ 平成28年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

平成27年度より歴史公文書等の引継業務を2人1班体制から4人2班体制に変更して取り組んでいるところだが、平成28年度は公文書館の在り方を検討する年であったため、両立できるよう体制に若干の修正を加えながら、引継業務の一環である選別作業の迅速化と作業精度のさらなる向上を目指した。

(公文書収集利用促進費 の続き)

#### ウ 成 果

2班体制としたことで、知事部局本庁及び知事部局地方機関の選別作業を同時進行で行うことができた。また、これにより、その後の知事部局以外機関の選別作業も迅速に進めることができた。

#### エ 課 題

公文書等の保存期間満了後の措置（歴史的公文書等として引継ぎ・廃棄等）については、各実施機関からの理解が得られつつあり、意識も少しずつ高まり始めたが、適切に実施してもらうためには、歴史公文書の評価選別基準について理解してもらう必要がある。

また、廃棄予定簿冊の公表から廃棄協議、引継ぎ・廃棄までの文書のライフサイクルに基づく手続の遵守のため、今後とも職員等に対する研修を実施していく必要がある。

事 業 名	決算額	財 源 内 訳		
		国庫支出金	そ の 他	一 般 財 源
県立公文書館在り方検討会議	—			—
将来ビジョン				
政策項目				

(概 要)

#### ア 目的及び事業の実施状況

##### (ア) 目的

- ・市町村の適切な公文書管理に向けた県の支援の在り方、歴史的に極めて重要な価値を有する市町村の公文書、民間資料等の保存・管理等における県立公文書館の役割などについて検討を行う。

##### (イ) 事業の実施状況

「県立公文書館在り方検討会議」を設置し、5月から9月まで4回開催して検討が行われ、報告書がとりまとめられ、10月に県（知事）へ提出。

[報告書の概要]

##### (1) 公文書管理の取組の現状と課題

- ① 県の公文書管理の取組状況
- ② 県内市町村の文書管理の取組状況
- ③ 県による市町村支援の取組状況

##### (2) 鳥取県立公文書館の役割・機能の在り方

- ① 歴史公文書等の保存の基本的な考え方
- ② 公文書等のより適切な管理に向けた県（公文書館等）の果たすべき役割（市町村との連携・協力）
- ③ 公文書館がこれまで以上に機能・役割を発揮するために求められる取組

#### イ 平成28年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

学識経験者、市町村等行政機関代表を委員とした検討会議で検討することにより、多面的な検討を行うことができた。

#### ウ 成 果

検討会議の結果を受けて、平成28年11月議会で、歴史的に重要な公文書等の保存と利活用に関する県・市町村・県民等の責務と役割を定めた全国初の「鳥取県における歴史資料として重要な公文書等の保存等に関する条例」が制定された。（平成29年4月施行）

(県立公文書館在り方検討会議 の続き)

エ 課 題

① 市町村では、限られた人員体制で1人で様々な業務を行っており、文書管理や選別の専門知識を持った職員が少ないため、県と市町村が連携・協力した取組強化が必要。

<対応策>

県及び各市町村の公文書等所管関係機関で構成する「県市町村歴史公文書等保存活用共同会議」を設置（平成29年4月25日）して、市町村との連携・協力による歴史公文書等の保存管理体制の向上を図る。

② 公文書館の所蔵資料の利活用を推進するための基盤整備や教育への活用や図書館・博物館との連携を進めていくことが必要。

<対応策>

ア 所蔵資料を保存し利活用するための基盤整備

- ・ 公文書管理条例制定前引継ぎ文書についての再評価や利用制限事前審査を実施
- ・ デジタル資料公開に向けた所蔵資料のデジタル化、データベース化の検討

イ 学校教育活動への支援・協力

- ・ 歴史学習教材資料作成（ウェブサイトでの公開及びパンフレット作成）
- ・ 所蔵資料を活用した教員向けの講座開設及び児童生徒の自由研究への協力

ウ 公文書館と図書館、博物館との連携

- ・ 図書館との統計資料等の重複資料の整理活用、デジタルアーカイブス構築検討や、災害発生時等の市町村への協力・連携の基本ルールの策定

事業名	決算額	財 源 内 訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
新鳥取県史編さん事業	31,022		1,335	29,687
将来ビジョン				
政策項目				
<p>(概要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>旧『鳥取県史』刊行後に新たな発見や研究の進展のあった事項や、旧県史で十分に取上げていない事項を調査・研究し、貴重な歴史・民俗資料を県民共有の財産として後世に伝えるとともに、その成果を新鳥取県史「資料編」「ブックレット」を通じて提供することで、郷土に対する県民の理解と愛着を深める。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>① 新鳥取県史編さん委員会、専門部会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 編さん委員会（8名、うち外部委員6名）…編さん方針、編さん計画の審議（2回）</li> <li>・ 専門部会（31名、うち外部委員24名）…時代・分野ごとの編さん内容の審議（各2回）</li> </ul> <p>② 資料調査・原稿作成等</p> <p>「資料編」に収録する歴史的に重要な資料の調査、専門家への原稿執筆依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考古部会 県内主要遺物の実測調査、資料編の原稿及び図面等の作成・校訂・校正等</li> <li>・ 古代中世部会 県内外の中世資料調査、資料編の原稿作成・校訂・校正等</li> <li>・ 近世部会 県東部の主要資料・近世編さん物の調査、校訂等</li> <li>・ 近代部会 県内関係資料の調査、収録資料の抽出・校訂等</li> </ul>				

(新鳥取県史編さん事業 の続き)

- ・現代部会 県内軍事関係資料の調査、資料編の原稿作成・校訂・校正等
- ・民俗部会 県内民具資料の調査

③「資料編」の刊行・頒布

県内の主要な歴史・民俗資料を掲載する「資料編」を刊行した。

- ・刊行3巻

考古部会『旧石器・縄文・弥生時代』、古代中世部会『古記録編』、現代部会『軍事・兵事』

- ・頒布 公文書館、県庁県民課、各総合事務所

④新鳥取県史講演会・巡回講座の開催

調査研究の成果を県民にわかりやすく提供するため県内各地で講座を開催した。

期日	会場	テーマ	参加数
5/23	鳥取大学	天下統一に向けた鳥取城攻防	70
6/6	鳥取大学	亀井茲矩の治政と朱印船貿易	40
6/26	鳥取県立博物館	鳥取県の民俗信仰	35
11/2	米子市立図書館	鳥取県の民俗芸能	47

⑤「県史だより」の発行

資料調査や研究活動に関する様々なトピックをホームページ上で紹介するとともに、県内各図書館で閲覧できるよう配布した。計12回発行。

イ 平成28年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

定期的に全職員で資料編刊行の進捗確認を行い、進行管理に努めた。

ウ 成果

当初の予定どおり3部会による3冊の資料編を刊行し、調査で得られた成果を県民に還元することができた。また刊行後講座を民間研究団体等と連携して開催し参加者から好評であった。

エ 課題

刊行計画の最終年度(平成31年度)に向けて資料編の刊行が本格化し、各部会とも調査・整理・編集に要する業務量が増加している。調査期間内に予定している資料編の着実な刊行を行うとともに、調査で得られた画像・資料の適切な整理・保存と公開に向けての検討を早急に進める必要がある。

7 収入証紙取扱額調べ  
該当なし

8 収入事務処理状況調べ  
(1) 分担金及び負担金  
該当なし

(2) 使用料

(平成29年5月31日現在)  
(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
行政財産 使用料	行政財産 使用料		1	10,930	10,930	0	0		
	計(節)		1	10,930	10,930	0	0		
目計			1	10,930	10,930	0	0		
合計			1	10,930	10,930	0	0		

(3) 手数料  
該当なし

(4) 財産収入

(平成29年5月31日現在)  
(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
物品 売払 収入	物品 売払 収入	刊行物 売払収 入	179	1,290,166	1,290,166	0	0	・鳥取県物品事務 取扱規則 ・県刊行物作成要領	
	計(節)		179	1,290,166	1,290,166	0	0		
目計			179	1,290,166	1,290,166	0	0		
合計			179	1,290,166	1,290,166	0	0		

(5) 諸収入

(平成29年5月31日現在)  
(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
雑入	雑入	情報提 供複写 料金	48	13,500	13,500	0	0		
		複写物 及び刊 行物送 料	68	35,643	35,643	0	0		
		雇用保 険料本 人負担 分	1	81,273	81,273	0	0		
目計			117	130,416	130,416	0	0		
合計			117	130,416	130,416	0	0		

(6) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

(平成29年5月31日現在)

(単位:円)

収入科目(節)	収入 済 額	備 考
物 品 売 払 収 入	390,340	刊行物代金(157件)
雑 入	14,784	複写代金、刊行物等送料(124件)
合 計	405,124 (281件)	

イ つり銭の状況

(平成29年5月31日)

つり銭の有無	有	つり銭の額(円)	30,000
--------	---	----------	--------

9 収入未済額調べ

該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ

該当なし

11 不納欠損額調べ

該当なし

12 負担金、交付金及び委託料支出状況調べ

(平成29年5月31日現在)

(1)負担金

(単位:円)

予算科目(目)	予算 令達額	負担金 の名称	支出先	負担率	支出 年月日	支出金額	支出の根拠法令 名等(規約、要綱 等を含む)	備 考
公文書館費								
新規以外のもの						40,000		文書ID 16-00068545
目 計						40,000		
合 計						40,000		

(2)補助金

該当なし

(3)交付金

該当なし

## (4)委託料

(平成29年5月31日)(単位:円)

予算科目 (目)	国単別の別	委託料の名称	委託契約の相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月 日)	完了 年月日	支出の状況			備考	
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約期間			契約形態	支出 区分	支出 年月日		金額
	単県	白黒ネガフィルムの電子化業務	有限会社高橋カメラ店	483,472	(28.11.16) 399,265 ( )	28.11.16 ~ 29.2.10	28.11.11 (免除)	29.1.19	精	29.1.31	399,265	文書ID 16-00111511	
	単県	公文書綴りの修復業務	株式会社ヤマキ	693,360	(28.11.24) 412,344 ( )	28.11.24 ~ 29.3.28	28.11.18 (免除)	29.2.21	精	29.2.24	412,344	文書ID 16-00106527	
	単県	複製資料の製本業務	ナカバヤシ株式会社 社広島営業所	405,000	(28.11.28) 291,600 ( )	28.11.28 ~ 29.3.17	28.11.25 (免除)	29.3.3	精	29.3.9	291,600	文書ID 16-00116581	
公文書館費	単県	企画展に係る展示物等作成業務	株式会社北陽毎日 広告社	237,600	(29.2.21) 205,200 ( )	29.2.21 ~ 29.3.11	28.11.20 (免除)	29.3.10	精	29.4.7	205,200	文書ID 16-00156305	
	単県	週休日展示コーナー管理業務	富士総合警備保障 (株)	4,040,000	(28.4.1) 4,017,600 ( )	28.4.1 ~ 31.3.31	28.3.22 (免除)	28.4.24 他11回	精	28.5.16 他11回	1,376,272	文書ID 15-00179559	
	単県	「新鳥取県史資料編考古」原稿執筆業務委託料	個人(有識者複数 名)		(26.5.22) 文字原稿 1頁 あたり12,500円 図表写真 1頁 あたり11,000円 (27.3.11) 変更なし	26.5.22 ~ 29.3.27	( )	29.3.9 他30回	精	29.3.22 他16回	2,447,212	(当初) 文書ID 14-00029138 (変更) 文書ID 14-00169869	
予定価格が20万円未満のもの											635,061		
目計											5,766,954		
合計											5,766,954		

13 工事請負費調べ

該当なし

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

該当なし

イ 建物

(平成29年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考	
			面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)		
行政財産	公文書館	鳥取市尚徳町101	1,727.84	403,518,220	増加	H					H	1,727.84	403,518,220	
					減少	H					H			
計			1,727.84	403,518,220			0	0				1,727.84	403,518,220	
普通財産					増加	H					H	0.00	0	
					減少	H					H			
計			0.00	0			0	0				0.00	0	
合計			1,727.84	403,518,220			0	0				1,727.84	403,518,220	

ウ 山林

該当なし

エ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機)

該当なし

オ 物権

該当なし

カ 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案件等)

該当なし

キ 有価証券

該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成29年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購入額	使用額		
	円	円	円	円	
郵便切手及び郵便はがき	48,370	158,445	143,148	63,667	
収入印紙				0	
収入証紙				0	
タクシークーポン券				0	
鉄道プリペイドカード				0	
合 計	48,370	158,445	143,148	63,667	

イ タクシーチケットの受払状況

該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

該当なし

16 借受不動産明細調べ

該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

該当なし

18 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ

該当なし

19 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

20 備品の処分状況調べ

該当なし

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1)現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

該当なし

(2)物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個 数
平成28年8月2日 ～ 平成28年8月30日	・ 有      ・ <input checked="" type="radio"/> 無		

22 職員旅費の執行状況調べ

(1) 旅行伺の事前承認

旅行総件数	旅費システムで 発令日が発日 より遅い件数 ①	①のうち履歴で 事前承認が確認 できた件数 ②	①のうち②以外で 緊急等特別な理由 があった件数 ③	特別な理由もなく事前承 認がされていない件数 (①-②-③)	備 考
55	2	0	2	0	

(2) 旅費概算払の精算等

ア 概算払の精算が旅行完了日の翌日から2週間以上経過しているもの(零精算を除く) …………… (0件中0件)

イ 精算払が旅行完了日の翌日から30日以上経過しているもの …………… (55件中3件)

(3) 旅費の計算

用 務 先	旅 行 期 間	用 務 内 容	支 出 金 額	備 考
国文学研究資料館(東京都立 川市)、国立公文書館(千代田 国立公文書館(千代田区北の 丸公園)、国立国会図書館(千 代田区永田町)、東京都立中央 図書館(港区南麻布) エリザベスサンダースホーム (神奈川県中郡大磯町)、株式 会社建設技術研究所(東京都 中央区)、石谷尚子氏邸(東京 都目黒区)、紙の博物館(東京 都北区王子)ほか	H29.1.30-H29.1.31  H29.2.17-H29.2.20	「古記録編」収録史料の原本調査、口絵候補写真の撮影  資料調査	53,570  44,380	
神奈川近代文学館(横浜市中 区山手町)、室内匠区内公文書 館(千代田区千代田)	H29.3.28-H29.3.30	企画展に係る資料調査及び資料借用依頼	32,700	
玉作湯神社(松江市)、善福寺 (伯耆町)、八幡神社(米子市)	H28.12.25-H28.12.27  H29.2.24-H29.2.25	資料編「近代5」にかかる資料調査  中世資料調査、口絵写真再撮影	31,930  21,610	

(4) 旅費の適正執行の取組状況等

--

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

！ (2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし